

県本部通信

Monthly
Zen-noh
Gunma

4

2024 April
No.263



This
month's
photo

JA全農ぐんま 花木流通センター
フラワーセンター ジュリアン



©群馬県ぐんまちゃん



Contents

事業のうごき	2	インフォメーション	6～7
組織機構図	3	アートクッキング	裏表紙
令和6年度事業計画	4～5	花木流通センター便り	裏表紙



JA全農ぐんま
公式Instagram
情報発信中！
ぜひご覧ください



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農ぐんま

<https://www.zennoh.or.jp/gm/>



事業のうごき

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- 令和5年産民間流通麦引取推進
- 令和5年産ビール大麦引取推進
- 令和7年産民間流通麦生産計画取り纏め推進
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)

園芸部

園芸販売課

- 共計ホウレンソウ販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味ニラ販売 (周年)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計キュウリ販売 (7月末日迄)

園芸総合対策課

- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取り組み支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進
(段ボール・パック・フィルム・果実用資材他)
- 春夏用青果物段ボール予約・当用推進
- 果樹袋当用推進(リンゴ・ブドウ・ナシ・モモ他)
- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 夏用野菜種子推進
(ホウレンソウ・エダマメ・トウモロコシ他)
- セル苗の予約推進(トマト・ナス他)

生産資材部

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- こんにゃく肥料農薬推進
- バンカーシート推進
- 果樹農薬推進

花木流通センター

- 春の菜園フェア 4月5日(金)～8日(月)
- ゴールデンウィーク菜園フェア
4月26日(金)～5月6日(月)

担い手推進課

- 大規模・系統末低利用生産者への推進支援
- JAの出向く体制強化支援

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活燃料部

生活課

- 蓄電池推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- JAタウン取扱品目拡大
- 令和6年度新茶推進 (4月～6月)
- ペット火葬推進 (周年)
- 墓石事業取扱拡大推進 (周年)

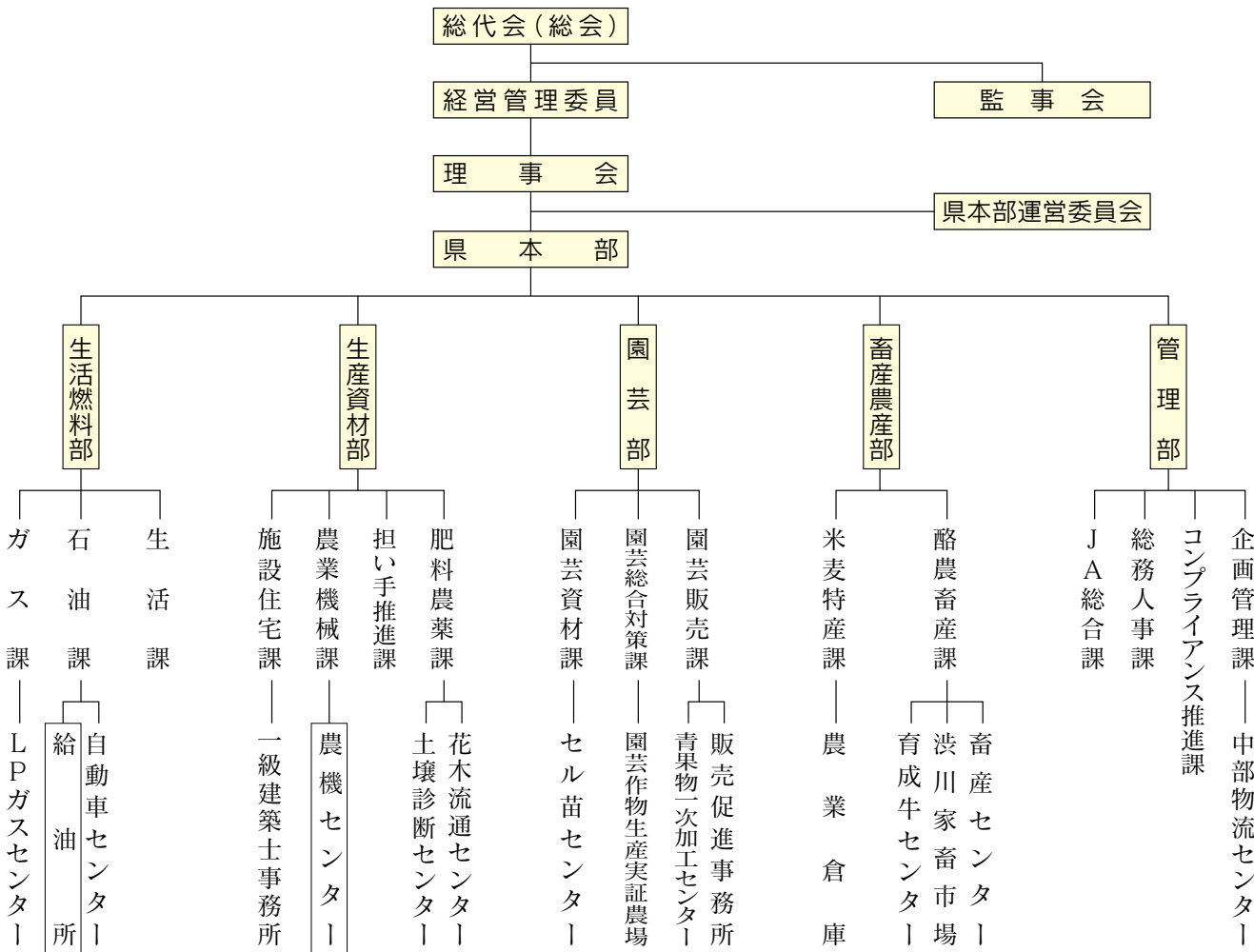
石油課

- 春期オイルキャンペーン (2月～5月)
- 春期タイヤキャンペーン (3月～5月)

ガス課

- ガス・でんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 給湯器燃料転換推進 (4月～3月)
- 春の厨房機器推進 (4月～6月)
- ガス器具推進 (4月～12月)

令和6年度
全農群馬県本部 組織機構図



全体の名称一覧

No.	農機センター機構名	No.	農機センター機構名	No.	給油所機構名	No.	給油所機構名
1	荒砥 M C	21	館林 M C	1	甘楽富岡燃料配送センター	21	北軽井沢給油所
2	富士見 M C	22	多々良 M C	2	富岡バイパス給油所	22	上津セルフ給油所
3	宮城 M C			3	富岡南部給油所	23	沼田セルフ給油所
4	いせさき M C			4	下仁田インター給油所	24	川場セルフ給油所
5	たかさき東部 M C			5	富士見給油所	25	利根東セルフ給油所
6	たかさき北部 M C			6	芳賀給油所	26	新治給油所
7	榛名 M C			7	宮城給油所	27	久呂保給油所
8	碓氷安中 M C			8	荒砥給油所	28	片品給油所
9	藤岡 M C			9	粕川給油所	29	世良田給油所
10	富岡 M C			10	はぐくみ西部給油所	30	新里給油所
11	妙義 M C			11	はぐくみ倉渕給油所	31	笠懸給油所
12	甘楽 M C			12	はぐくみ東部給油所	32	藪塚給油所
13	子持 M C			13	碓氷安中本所給油所	33	城西の杜給油所
14	榛東 M C			14	吉岡バイパス給油所	34	たたらセルフ給油所
15	あがつま M C			15	鯉沢バイパス給油所	35	長柄給油所
16	新田 M C			16	榛東セルフ給油所	36	邑楽館林本所給油所
17	みどり M C			17	高山給油所	37	いたくらセルフ給油所
18	太田市 M C			18	名久田セルフ給油所		
19	板倉 M C			19	東給油所		
20	西邑楽 M C			20	郷原給油所		

JA全農ぐんま 令和6年度 事業計画のあらまし

情勢認識

1. コロナ禍による経済社会活動への制約が解消され、景気が感染状況に左右されないアフターコロナ期に移行。
2. 県内の基幹的農業従事者数の減少・高齢化がすすみ労働力不足が深刻化。労働力不足に直面している農業生産現場では、ロボット・AI等の技術を活用したスマート農業の実装の加速化が重要。
3. 「SDGs(持続可能な開発目標)」の取り組みや「みどりの食料システム戦略」への具体的な取り組みを促進。
4. JAグループでは、JAの職員数が減少しており、営農指導・担い手対応などの経済事業への影響が懸念。JA事業では信用・共済事業の収益低下が顕在化し経済事業の収支改善が求められ、経済事業の収益力改善が急務。

環境変化に迅速かつ円滑に対応

<2030年の全農グループのめざす姿>

持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”であり続ける

<2030年に向けた全体戦略>

- | | | |
|------------------|---------------|------------|
| 1. 生産振興 | 4. 地域共生・地域活性化 | 6. JAグループ・ |
| 2. 食農バリューチェーンの構築 | 5. 環境問題など | 全農グループの |
| 3. 海外事業展開 | 社会的課題への対応 | 最適な事業体制の構築 |

県重点実施策

2030年あるべき姿の実現に向けた全体戦略を踏まえ、3か年計画で策定した「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標と「JAへの支援強化」を軸としてJA経営基盤の強化に向けたJA経済事業の収益力向上・収支改善に向けた施策を提案し、引き続き実践に取り組みます。

1. 販売事業
園芸事業では直接販売や予約相対取引を拡大、社会的課題である物流体制の構築やGAP取得拡充による環境調和型農業に取り組みます。酪農畜産事業では県内組織再編の更なる促進による農家所得の増大、米麦事業では米麦保管管理体制構築による流通基盤の強化を進めます。
2. 購買事業
トータル生産コスト低減に向けて、規格集約段ボール及び需要結集マルチ購入の普及・推進や国内未利用資源を活用した肥料銘柄及び農薬担い手直送規格等の普及・取扱拡大に取り組みます。また、燃料事業ではカーボンニュートラルを見据えたマスタープラン（拠点再編）を実践します。
3. 営農事業
JAとの一体的推進機能構築に向けた担い手推進担当者の育成に取り組みます。
4. JA支援
経済事業の事業課題解決に向け、JA域を超えた広域施策「事業別マスタープラン」をもとに、JAとの対話を継続し、経済事業の収益改善に向けたJAの取組を支援します。自己改革の実践及び経営基盤強化の取組を包括的に支援すべく、中央会・各連合会と連携します。

事業別具体策（県本部取扱高1,380億円）

畜産農産事業（164億円）

1. 酪農畜産事業では生産者所得増大のため、県内酪農組織再編の更なる促進や育成牛センター等での後継牛確保対策、家畜市場運営での市場性の向上に努めます。
2. 米麦事業では実需者ニーズに基づいた米の集荷による販売力を強化、麦の全量播種前契約締結による生産と供給の安定、高品質麦の生産による需要拡大に取り組みます。
3. 特産事業ではこんにゃくの年間平均販売による有利販売を実施し、多様な生玉取引方法による価格形成力を強化します。

園芸事業（810億円）

1. 園芸販売事業では加工・業務需要等の実需者ニーズへの対応力強化を図るとともに、直販取引先、全農直販施設および重点卸売市場を基軸とした直接販売および予約相対取引を拡大し、生産者所得の安定化と最大化の両面からの取り組みを強化します。
2. 園芸総合対策事業では野菜の生産拡大のためJAの野菜振興の取り組みおよび安全・安心な農産物の生産体制の確立と出向く体制強化を支援します。また、JAの業務効率化につながる新たなシステムの導入を検討し、JAグループ一元対応に向けた営業体制の構築を図ります。
3. 園芸資材事業では消費地需要に合った新商品や施設園芸の高品質・高収量化技術を提案・普及します。また、規格集約段ボール及び需要結集マルチ購入の普及・推進を進めます。
4. 園芸資材事業では消費地需要に合った新商品や施設園芸の高品質・高収量化技術を提案・普及します。また、規格集約段ボール及び需要結集マルチ購入の普及・推進を進めます。

生産資材事業（129億円）

1. 肥料農薬事業では資材の銘柄・規格集約や省力・低コスト資材を普及、多様な生産者ニーズへの対応力を強化、花木事業では植木や野菜苗の生産者との協力関係を強め販売を拡大します。
2. 担い手支援事業では大規模・系統未低利用生産者への推進支援、担い手推進担当者の育成、本会の部門横断的支援体制づくり強化に取り組みます。
3. 農業機械事業では低価格モデル農機の共同購入の実施によるトータル生産コストの低減への取り組みと、ICTを搭載した農業機械の提案を行います。
4. 施設住宅事業では施主代行の計画・設計・施工管理による総合機能を発揮し生産基盤の維持・拡大に資する施設建設に取り組みます。

生活燃料事業（277億円）

1. 生活事業では農家組合員の暮らしに必要な生活用品の提供、環境保全や高齢化社会に対応した商品をはじめ、JAタウン（EC）の取組を強化し、県産農畜産物を直接消費者へお届けします。
2. 葬祭事業では事業基盤の強化に向けた体制整備としてJA葬祭事業の継続性確保を目的とした葬儀施行業務外部委託のスキーム推進に向けて新たな葬祭事業体制に取り組みます。
3. 石油事業ではエネルギー需要構造の変化を見据えたマスタープラン（拠点再編）の実践や営農用燃料の配送業務の合理化に取り組みます。
4. LPガス事業ではホームエネルギー事業の展開、JAグループ全体の保安強化や営農支援の強化に取り組みます。また、協力会社とのアライアンスによる物流コストの削減を図ります。

第3回園芸販売事業合理化PT



2月15日(木)、園芸総合対策課はJAビルで「第3回園芸販売事業合理化PT」を開催し、15JAの園芸関係部課長や関連会社および当県本部関係者ら51人が参加しました。株式会社kikitoriの上村代表により、青果物集出荷システム「nimaruJA」の概要や導入事例について説明が行われたのちに出席者から各JA管内での荷受けの課題や方針についての共有が行われました。出席者からは「部会の連絡手段等今後導入を検討したい」との意見があり、現場業務における情報共有の省力化に向けた意見が交わされました。

ぐんマルシェ



2月17日(土)、18日(日)の両日、園芸販売課は「旬を発信!!ぐんマルシェ」を東京都千代田区の東京交通会館で開催しました。県産の旬を迎えた野菜を対面で販売し、県産野菜の知名度アップを図りました。やよいひめやブリックスナインのほか、県内JAから集められたちぢみほうれん草、春菊、アレッタ、辛味大根など多彩な品目が並べられ、新鮮な青果物を買求める来場者でにぎわいました。

群馬県農機事業経営委員会



2月21日(水)、JA全農ぐんまの農機事業一体化運営に伴う「群馬県農機事業経営委員会」がJAビルで開かれ、林会長をはじめ県内JA組合長・理事および当県本部関係役職員が出席しました。本経営委員会は「農機共同事業体」発足より毎年開催されています。会議では、令和5年度の事業報告が行われたのちに、令和6年度事業計画・覚書締結および経営委員会役員の選任について協議され、全て可決承認されました。

群馬県米麦種子センター起工式



2月26日(月)、新たに整備される群馬県米麦種子センターの起工式が玉村町のJA佐波伊勢崎旧じょうよう支所内建設予定地で執り行われ、JA・群馬県・当県本部の関係者ら35人が出席しました。群馬県米麦種子センターは老朽化した県内3カ所の種子センターを統合し、新たな米麦種子センターの拠点として県内全域の米麦種子の確保と安定供給を目指します。当日は神事により工事の安全と無事の完成が祈願されました。施設は2024年度中の完成、2025年の稼働開始予定です。

県産きのこを学校給食に寄贈



きのこ振興協議会は2月、大泉町の東毛給食センターに給食用の県産しいたけ、まいたけ、しめじを寄贈しました。桐生市の桐生きのこ園と(有)赤城菌園の協力のもと寄贈されたきのこは、県産きのこの消費拡大や愛着醸成を図り、町内の小中学校で給食として提供されました。2月9日(金)は「まいたけごはん」、2月28日(水)は、「ハンバーグきのこソース」が提供され児童らは県産きのこを味わい「おいしい」と笑顔を見せていました。

コミュニケーション力 スキルアップ研修会



2月29日(木)、コンプライアンス推進課は当県本部職員および子会社社員を対象とした「コミュニケーション力スキルアップ研修会」を開催しました。研修では、講師に日本クレーム対応協会の谷厚志代表理事を迎え、「毎日の仕事が楽しくなる！コミュニケーションの取り方」と題した講義が行われました。参加職員および社員は、仕事への向き合い方や日常業務でのコミュニケーションの取り方の重要性について再認識し、コンプライアンスへの意識を高めました。

産地直送通販サイト

ぐんまの新鮮野菜

新鮮ぐんま

みどりの風

～今月のおすすめ～

「辛味大根 約3kg (JA佐波伊勢崎)」

JA佐波伊勢崎の直売所「からか～ぜまゆの郷」よりお届け！一般的な大根に比べると小さめですが、ピリッとした辛みが特徴です。水分が出にくいので、皮を剥かずに大根おろし(薬味)としてご使用いただくのがおすすめです。おそばやうどんと一緒にぜひご賞味ください。



おいしい日本と暮らそう

JAタウン

www.ja-town.com



アクセスはこちら！

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3201>

みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
中村リポーター 4年目突入スペシャル／JA群馬中央会	4月1日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※4月7日(日)	AM 8:00～ 8:30
若手農業者の取り組み／JAたかさき	4月8日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※4月14日(日)	AM 8:00～ 8:30
自然の宝庫 上野村／JA上野村	4月15日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※4月21日(日)	AM 8:00～ 8:30
こだますいか(案)／JA太田市	4月22日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※4月28日(日)	AM 8:00～ 8:30
春の花木流通センター(案)／JA全農ぐんま	4月29日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※5月5日(日)	AM 8:00～ 8:30



中村 柚貴子アナ

ミニトマトのハニーマリネ



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

- 1 瓶分 (1瓶分 245kcal)
- ミニトマト..... 8個
 - ハチミツ..... 大さじ1.5
 - レモン汁..... 大さじ2
 - オリーブオイル..... 大さじ1
 - 塩..... 小さじ1/4
 - 粒コショウ..... 少々
 - オールスパイス..... 少々
 - ローズマリー..... 2枝

作り方

- 1 ミニトマトを洗いヘタを取ったら、保存用の瓶に入れる。
- 2 1の瓶にハチミツ・レモン汁・オリーブオイル・塩・粒コショウ・オールスパイスを加える。
- 3 ローズマリーを入れ2～7日漬け込む。時々瓶を振り全体になじませる。
- 4 十分に付け込まれたら完成。お料理の付け合わせなどにするとよい。

花木流通センター便り

開催日 内 容

- 4月5日(金)～4月8日(月) 春の菜園フェア
- 4月26日(金)～5月6日(月) ゴールデンウィーク菜園フェア

開催日 講習会 etc

- 4月13日(土)・14日(日) 10:00～12:00 なす・きゅうり・トマトの定植 栽培講習会

● 定休日▶毎週火曜日※店内では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。



	営 業 時 間	定 休 日
花木流通センター	4・5月: 9:00～17:00 6～3月: 9:00～16:00	4月・5月: 無休営業 6月～3月: 毎週火曜日定休
みのり館	4～3月: 9:00～17:00	年末年始を除いて 無休営業
様名十文字うどん	4～3月: 11:00～14:30	



住 所 前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

JAでんき

農家・組合員の皆様が日々ご利用されている電気料金をお安く提供するためのJAグループのお得な電気メニューです!!

電気料金でお悩みの方は是非、一度JAでんき取扱JAへご相談下さい。



簡単!!
切替手続きはカンタン!!JA担当者様が親切にお手伝いさせていただきます。

安心!!
今まで通り、変わらずに、安心してご利用頂けます。

お安く・お得!!
お得な料金メニューをそろえてあります。その他、お得な特典もご用意しております。

一例として
(東京電力との比較)
(平均的家庭)

契約内容:従量電灯B 40A 350KWh/月 使用している
(東京電力※)一般家庭のモデルケース(令和5年4月1日現在)
東京電力※と比較して JAでんきは約年間5,400円お得になります。
※東京電力エナジーパートナー

こんな心配はありませんか? Q&A よくあるご質問コーナー

Q01 料金はいくらの?

現在、ご利用いただいている電力会社の電気料金とJAでんきとの料金比較を無料でご診断致します。

Q02 切替え(工事・費用等)

切り替える際の工事等は一切必要ありません。費用も一切かかりません。又、切替時の一時停電や宅内での作業もございません。

Q03 トラブルが起きた時は?

電気のご使用でトラブルが発生した場合は24時間体制によるコールセンターをご利用いただけます。

Q04 停電は起きやすいの?

東京電力※様の送電線を利用して供給する為、供給の安定性は従来と変わりません。JAでんきのお客様のみが停電するとはございません。安心してください。
※東京電力パワーグリッド株式会社

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

〈あて先〉〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp